

## ◆学会発表◆

(\*は、財団研究員)

### The 6<sup>th</sup> Korea China Japan Nursing Conference. (2022/11/1-3:オンライン)

- ①Sasaki-Otomaru A\*, Ishibashi T\* 「Practical use of Quality Indicators (QIs) of care services in Community-Based Integrated Care System」
- ・介護のケアの質を評価するには、見かけ上のイベント発生の結果のみでなく、属性の偏りの調整が不可欠である。また、インターライには社会的側面の評価が含まれるため、高齢者に関わる看護師にも活用が期待される。

### 第17回日本応用老年学会大会 (2022/11/12-13:福岡県)

- ①佐々木晶世\*・齋藤京子・西村美紀・叶谷由佳 「地域在住高齢者における口腔機能と腕時計型脈拍・加速度計で測定した睡眠・活動データとの関連：一般介護予防事業としての試み」
- ・オーラルフレイルのリスクのある高齢者の参加がみられたことから、腕時計型脈拍・加速度計を使用しての健康講座は、介護予防の必要な高齢者の把握を促す可能性を示唆した。
- ②中村桃美\*・石橋智昭\*・鶴岡哲也 「高齢者福祉施設における新型コロナウイルス感染症拡大と初動対応時間との関連；都内施設を対象とした第6波の状況調査を用いた分析」
- ・高齢者福祉施設での新型コロナウイルス感染者発生時における初動対応時間と感染拡大との関連を検討した。その結果、初動対応が3時間未満の施設で感染が広がりにくく、小規模な施設ではその傾向がより顕著であった。
- ③森下久美\*・松山玲子・姉崎猛・石橋智昭\* 「シルバー人材センターにおける就業時の「保護具の非着用」が起こる背景：2009-2020年度重篤事故報告資料による検討」
- ・シルバー人材センターにおける就業時の「保護具の非着用」は、＜休憩時・作業間＞等の気持ちが油断したタイミングや、＜予定になかった

作業＞時に起きていることが明らかとなった。

- ④安順姫\*・新野直明・岩田明子\* 「ポジティブ心理学的介入の手法を取り入れたうつ予防プログラムの検討：プログラム実践にあたる参加者の自由記述から」
- ・ポジティブ心理学的介入の手法を取り入れたうつ予防プログラムが参加者に十分な学びを提供できることが示された。一方、プログラムを進めていく上でスキルの内容や提示資料の工夫に課題が見られた。

## ◆論文発表◆

佐々木晶世：

- ①佐々木晶世\*・叶谷由佳・柏崎郁子・榎倉朋美 「多重介護の現状と課題：介護支援専門員を対象とした調査より」日本公衆衛生学雑誌70(1),27-38,2023.
- ②佐々木晶世\*・黒木淳・叶谷由佳 「介護療養型医療施設における看取りに向けた取り組みと施設の特徴」日本在宅医療連合学会誌4(1),18-27,2023.4巻1号.

## ◆講演など◆

石橋智昭：

- ①東邦大学看護学部 「健康政策論」講師 (10/5～11/16、計9回担当)
- ②第17回日本応用老年学会大会 シンポジウム4 「社会におけるジェロントロジーの活用報告」座長 (11/13、九州産業大学)
- ③「インターライによるケアの質と活用」国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター (老年学・社会科学センター) 研究員研修 (12/5、オンライン)
- ④「シルバー事業に役立つ「老年学」のススメ」高齢者活躍人材確保育成事業連絡会議 (1/20、於：公益財団法人東京しごと財団)

澤岡詩野：

- ①「地域をゆるやかにつなげるタネマキとは？～コロナ禍からヒントを探す～」埼玉県飯能市自治会

連合会研修会（10/12、於：飯能市市民会館）

- ②「マンションで「ゆるやかにつながる」タネをまこう！」横浜市都筑区茅ヶ崎南MGCRS地区研修会（10/15、於：集会所）
- ③「コロナ禍から改めて考えよう、地域の豊かさとは」本庄市地域福祉講演会（11/5、於：本庄市児玉文化会館）
- ④「わたしらしく生きるために、今できること」ビューティフルエイジング協会設立30周年記念講演会（11/12、於：日本赤十字本社ビル）
- ⑤「若者からシニアまで つながりを感じる社会をめざして」大田区おおた区民大学区民企画講座（12/2、於：大田区消費者生活センター）
- ⑥「つながりの輪を拓いていくためのタネをさがす～スマホやパソコンの活かし方～」横浜市磯子区新杉田地域ケアプラザ主催杉田和ら笑の会（12/7、於：新杉田地域ケアプラザ）
- ⑦「気づきを安心の輪にひろげるには？～つぶやける他者の意味を考える～」栄区（横浜市）区レベル地域ケア会議（12/15、於：栄区役所）
- ⑧「居場所創りのタネをまこう！～住民だからできるコトとは？～」江戸川区江戸川総合人生大学介護・福祉学科（12/19、於：江戸川総合人生大学校舎）
- ⑨「豊かな地域とは『なじんだ誰か』を創り出すこと～ウィズコロナ時代の地域支援を考える」磯子区地域診断研修会・介護予防連絡会（12/21、於：磯子区社会福祉協議会）
- ⑩「あなたや地域が「なじみ」の存在になるには？」岡山市地域活動リーダー養成講座（1/21、於：岡山市勤労者福祉センター）

佐々木晶世：

- ①横浜市立大学医学部看護学科2年次生公衆衛生学「成人保健」（10/26）、「環境保健」（11/9）講師
- ②横浜市立大学医学部看護学科1年次生公衆衛生学「成人保健」（12/19）講師

森義博：

- ①「二大リスク『超長寿』と『介護』のリアルを

知って備える」NPO法人日本FP協会神奈川支部主催「FPの日 FPフォーラム2022」（11/6）

- ②「人生の“真の長さ”と、それを踏まえた老後資金準備」（一社）シニア社会学会 社会保障研究会（11/30）

### ◆寄稿・取材記事ほか◆

澤岡詩野：

- ①広報よこはま 緑区版11月号でスマホを使ったコミュニケーションに関するコメント掲載
- ②読売新聞11月22日朝刊「フレイル講座」
- ③「年賀状終活」関連（12/1、毎日新聞読者向け冊子「私のまいにち」）、（12/7、NHK首都圏ニュース）、（週刊女性自身12月27日号）、（12/18、毎日新聞朝刊）、（産経新聞1月4日朝刊「『新』化論～ニッポンの景色」）

森義博：

- ①『老年社会科学』第44巻第3号（10/20）の論壇に「人生の真の長さ」と老後資金」が掲載
- ②（株）セールス手帖社保険FPS研究所「LA 情報」；「これからの老後資金準備－【2】税制優遇のある制度（10月）、【3】老後資金と「長生きリスク」（11月）、【4】公的年金の繰下げ受給と寿命（12月）、【5】「想定寿命」と老後資金（1月）」

### ◆受賞など◆

【学会賞受賞】当財団の佐々木晶世博士研究員が、2022年度の日本健康医学学会学会賞に選ばれました。

### ◆その他◆

【ダイアル更新】「社会老年学文献データベース（DiaL）」の第42回更新（新規登録335件）を完了（12/1）。登録論文総数は13,731件です。